## 施策評価シート(令和2年度 実績)

基本目標 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	
-------------------------------	--

## 施策評価(施策主管部長)

施策	公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出							古者	政	策担当部長	
施策内容	今後の人口減少を視野に、ICT技術等の導入による行財政のスリム化と、コンパクトシティを考慮した施設の 統廃合による公共施設の継続性をもった適正管理を進めます。 また、未利用町有地を町民主体の運営組織による独創的で柔軟な活用を進めることで、自然の魅力を感じ られ、多世代が気軽に集える新たな魅力となる場を創出します。										
	予算等事業名				行政評価 結果	KPI達成へ	の有効性		説明		
主な事業	1	公共施訂	设再配置事業		良好	有効力	ごった	地域集会施設の一部(6施設)の 震診断を行った他、今後の方向性をは 区と協議した。			
	2	財産管理	<b>里</b> 経費		適当	有効とは	言えない	普通財産の管理について、方向性を整 理できていない。			
	3		樹園跡地活用事業 と付金対象事業	410	適当 有効と(		言えない	協議会の活動が3年目に入り、各団体が同じ方向性を持って活動することの難 しさが出てきた。			
	4	新庁舎塾	<b>Ě備事業</b>		良好	有効力	ごった	ワークショップ等により意見を聴取し 後の方向性を見出すことができた。			
	5	行政改革	の推進(まちづくり総合)	調整事業)	適当	有効力	ごった	職員提案が職場改善、町民サー 繋がる好事例が出てきている。			
	指標名	指標名 公共施設の総延床面積									
			基準値	R2		R3	3	R	.4	達成状況	
重要業績評価指標	計画		68,729.08	68,59	0.24	68,45	1.40	68,31	2.57	D	
(KPI) ①	実績			68,729.08						D	
	分析 二宮町公共施設再配置に基づき推進しているものの、短期的に数値に反映することが困難である。										
	方向性 継続推進 目標値(指標)の見直U案 -										
	指標名 年少人口(15歳未満)の転入人数 (人)										
		基準値		R2		R3	3			達成状況	
重要業績評価指標		計画 143		160		17	0	180 B		В	
(KPI) ②				123		<u> </u>					
	分析 社会移動は増加傾向にあるものの、全国的に少子化が進行する中、KPIを達成することは難しい。										
	方向性 継続推進 目標値(指標)の見直し案 -										
	指標名 東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数 (回)							\+ -4\d  \\			
重要業績評価指標 (KPI)③	=+ m		基準値 			R3			.4 .0	達成状況	
	計画 実績		0	10		13	15		.0	D	
	^ 分析			 することがで	できなかっ	nt-					
	分析   緊急事態宣言が続き、ほとんどイベントを開催することができなかった。										
	プロ性   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
重要業績評価指標 (KPI)④	基準値			R2		R3	3	R	.4	達成状況	
	計画		9		3	3			)		
	美	[績		3						Α	
	分析	分析 方向性の決まった地域集会施設の耐震診断が終了したので、残された施設について、今後の方向性を地域と協議する。								生を地域と協議する。	
方向性 継続推進 目標値(指標)の見直し案 -											
	成(100	)%以上)	、B 概ね達成 (70	)%以上)	. C 充分	とは言えない	J (50%	IJ.F.) . Г	) 未達成	(50%未満)	

達成状況: A 達成(100%以上)、B 概ね達成(70%以上)、C 充分とは言えない(50%以上)、D 未達成(50%未満)

施策の取り組み	成果	・地域集会施設を1地区1施設としてくことについて、該当地区への説明が終わり、未耐震診断を行い、今後の方向性の協議を進めることができた。 ・新庁舎建設について、ワークショップ・シンポジウムを開催し、今後の方向性を整理することができませ						
	課題	①公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の進捗を確認し、見直しをする必要がある。 ②東京大学果樹園跡地の活用について、補助金の最終年度に当たり今後の方向性を整理していく 必要がある。 ③普通財産について、売却等を含め、今後のあり方について共通認識を持つ必要がある。						
	改善点 (課題番号 に対応)	①令和4年度の改定に向け、進捗を確認し課題を整理する。 ②協議会との対話の機会を通じ、令和4年度以降の管理のあり方を協議する。 ③土地調整委員会による協議の機会を増やしていく。						
	評	;/ <b>.</b>		地方創生に非常に効果的であった		地方創生に相当程度効果があった		
		-1 Щ	<b>~</b>	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった		